

# 国立大学病院長会議 記者会見

令和6年10月4日 一般社団法人国立大学病院長会議 会長 大鳥精司



一般社団法人  
国立大学病院長会議  
National University Hospital Council of Japan

# 国立大学病院収支状況等 調査について（報告）

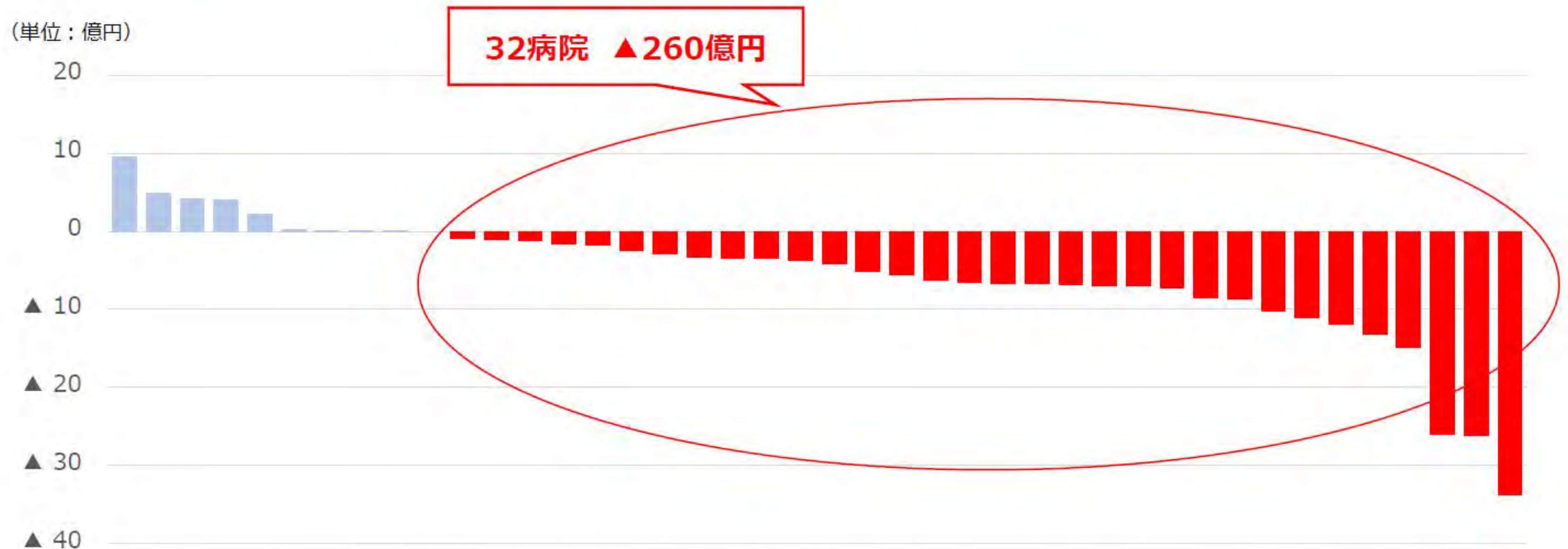
# 令和6年度の収支見込

## 【R6年度 収支見込】

- 物価・エネルギー価格高騰の影響、働き方改革や診療報酬改定に伴う賃上げ目標を上回る人事院勧告による人件費などの負担の増加、コロナ補助金の廃止 等から

病院全体で**マイナス235億円**の収支見込（年度当初はマイナス58億円）

【 **32病院**が収支マイナスの見込み(計▲260億円) 】



# 支出増加の要因

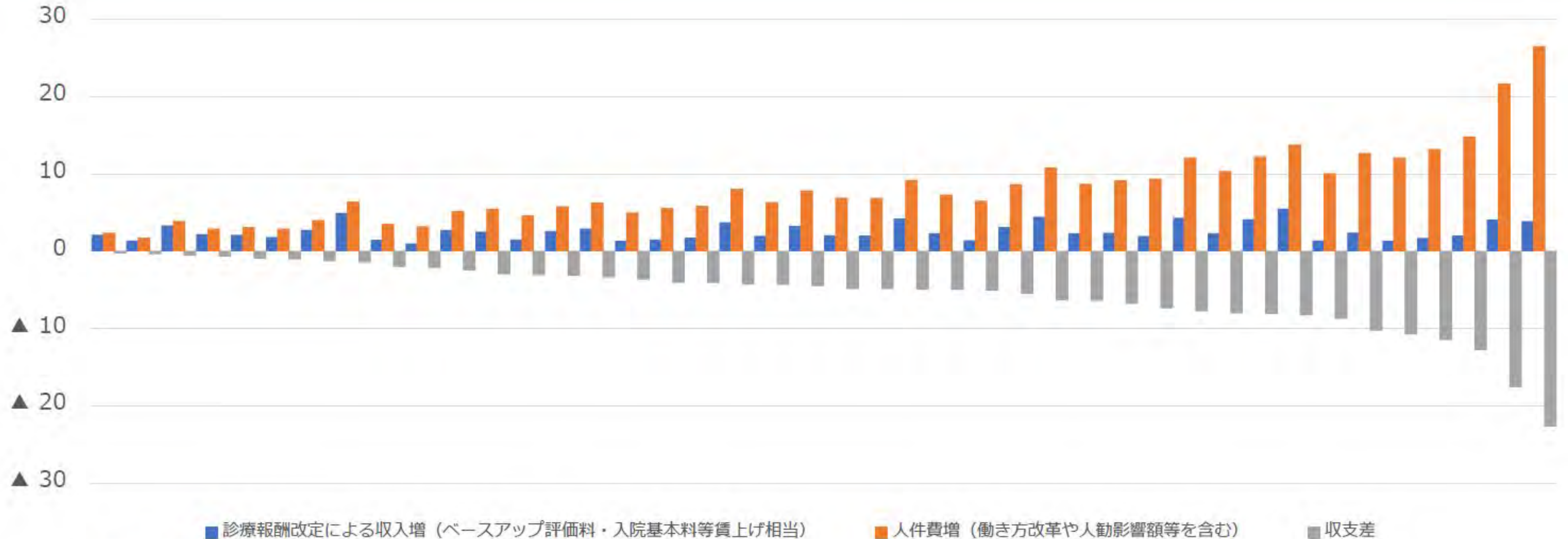
- ① 医療の高度化に伴い高額な医薬品、材料の使用量増による医療費の増加
- ② エネルギー価格高騰の影響から光熱水費の増加
- ③ 働き方改革、処遇改善の影響による人件費の増加
- ④ さらには物価高騰等による業務委託費の増加や老朽化が進む施設・設備への投資



・国立大学病院の保有する施設・設備の規模は大きく、**限界を迎えた老朽化施設・設備への投資は最低限必要** (= 投資を怠ると事業継続 (収入確保) も困難)

# 診療報酬改定による収入増と人件費増の比較

(単位：億円)



○ 診療報酬改定に伴う賃上げ目標2.5%に対して、  
**R6.8人事院勧告は民間給与の状況を反映し、3.4%(\*)の高水準のベースアップ** (※)勧告後の行政職俸給表(一)平均年間給与率換算

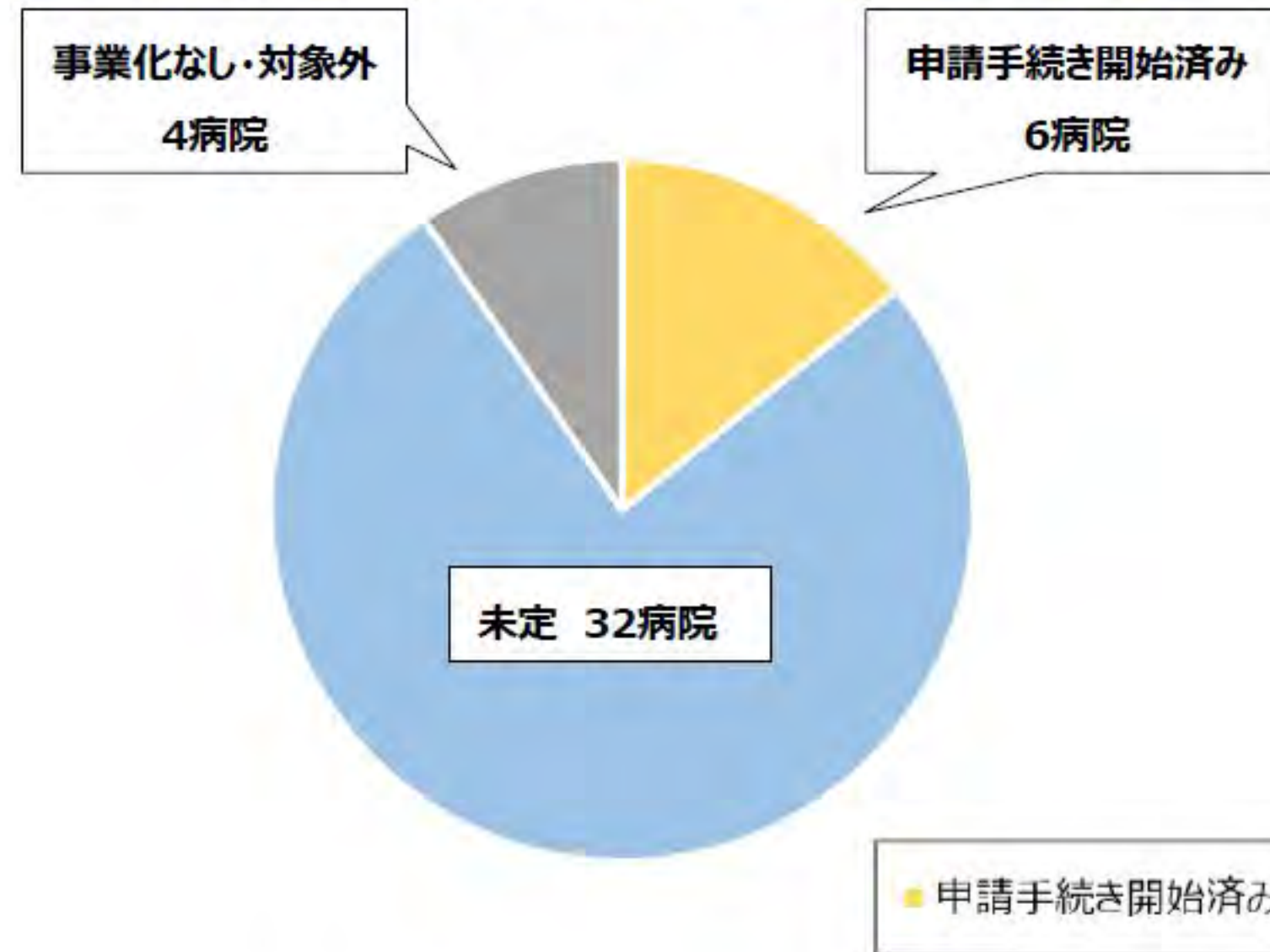
○ 現時点の収支見込では検討中であるが、病院運営の継続には処遇改善等による**医師の確保が必要である。一方、大学病院は大学全体とも整合性を揃える必要がある**

○ 診療報酬改定により108億円の増収見込みに対して、働き方改革や人勧影響額を考慮した**人件費は343億円の支出増見込みとなるため、大変厳しい経営状況である**

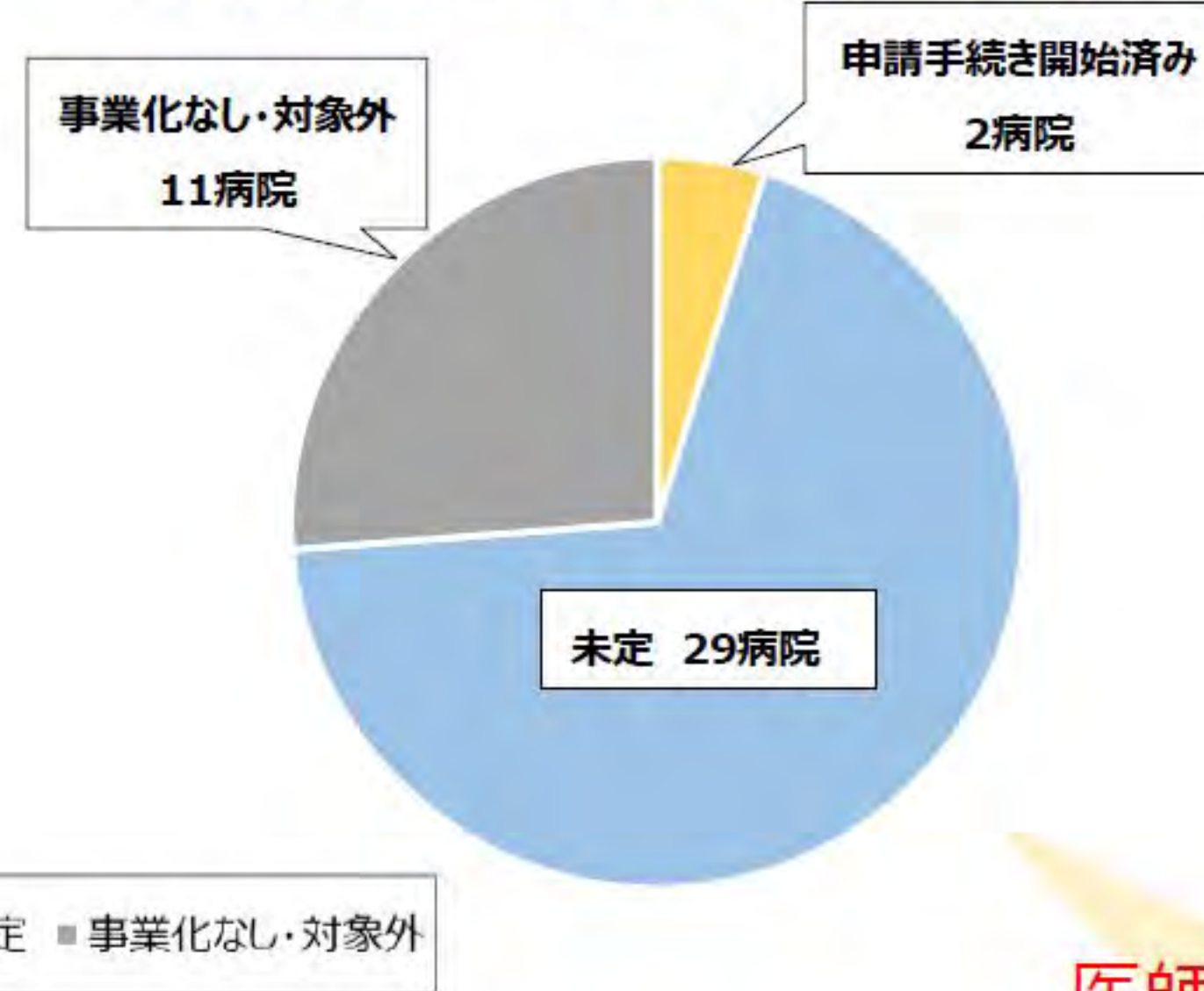
(注) 令和6年度診療報酬改定に伴う賃上げ相当額が収入となるのは令和6年8月以降

# 地域医療介護総合確保基金措置状況について

## ・地域医療勤務環境改善体制整備特別事業



## ・勤務環境改善医師派遣等推進事業



■ 申請手続き開始済み ■ 未定 ■ 事業化なし・対象外

### ○ 申請手続き開始済み病院数

- ・地域医療勤務環境改善体制整備特別事業 6病院のみ、3.9億円
- ・勤務環境改善医師派遣等推進事業 2病院のみ、6.3億円

➡ 自治体ごとに積算方法が異なり、申請手続き開始済み病院においても支援額に差が生じている

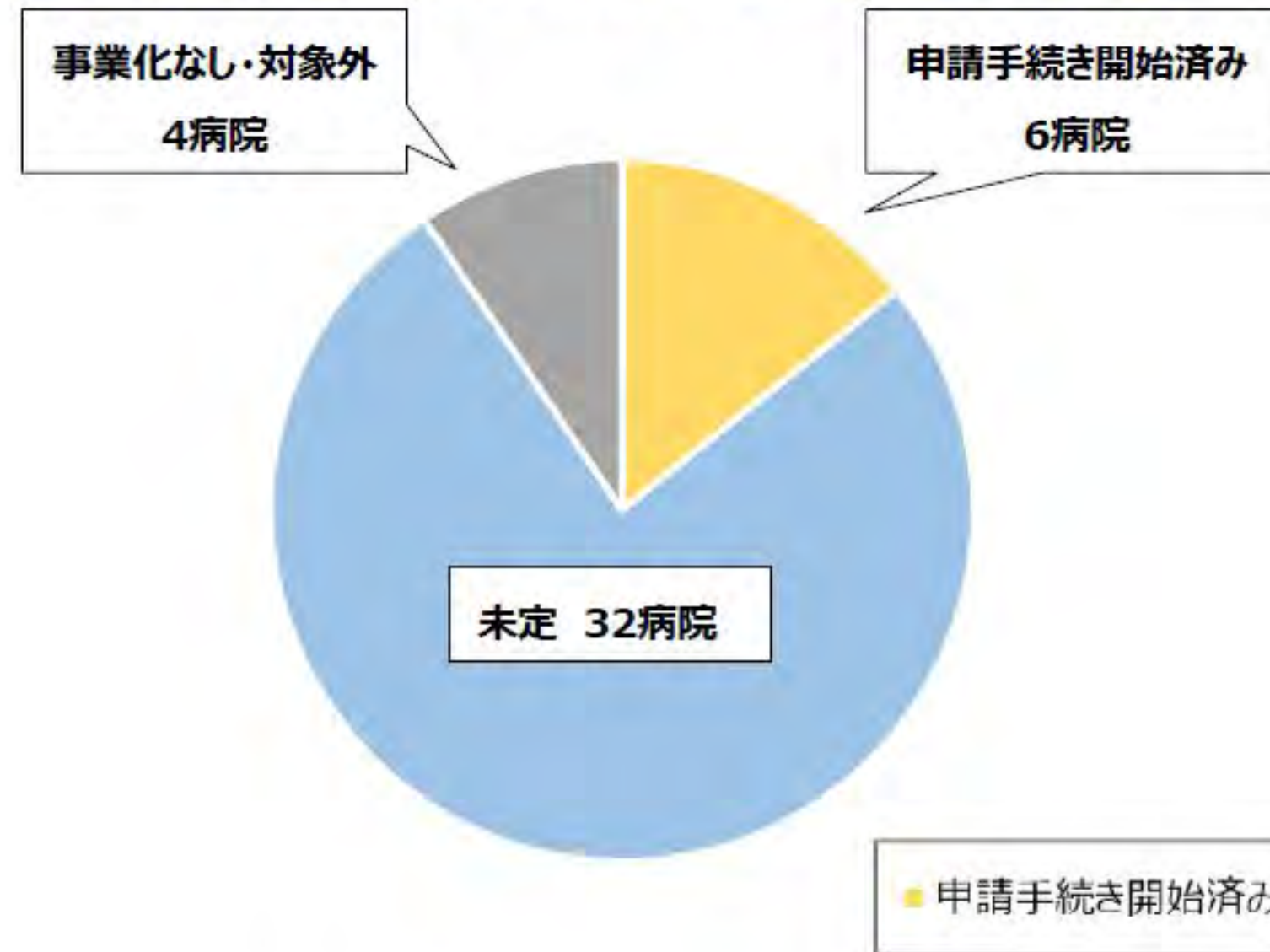
### ○ 自治体との調整がついていない病院や詳細な情報を得られていない病院が多い

➡ 地域医療介護総合確保基金獲得に向け、**自治体との折衝等の取組強化が必要**

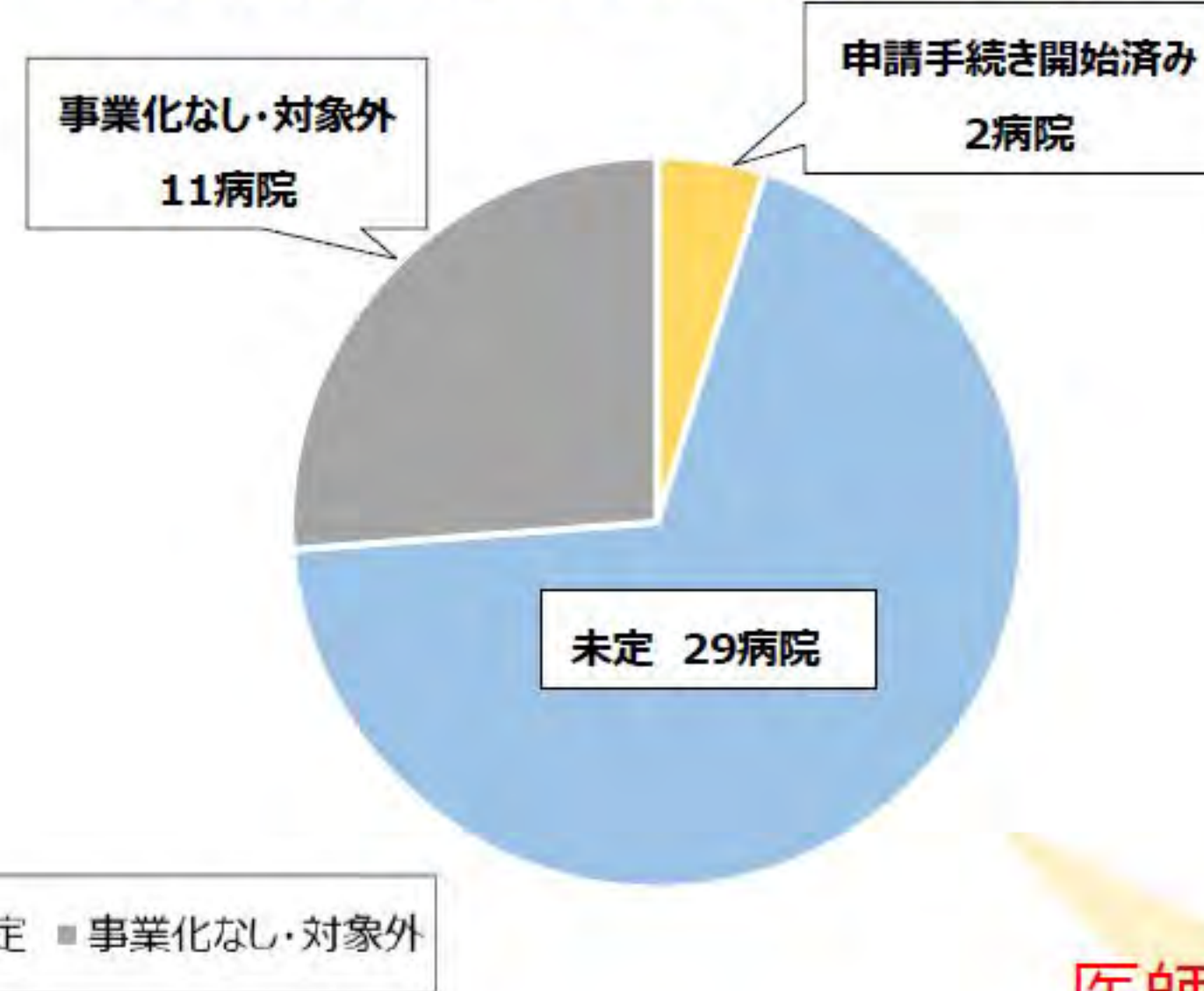
医師の働き方改革には、本支援事業が必要であるが、一部の病院では、「事業化なし・対象外」

# 地域医療介護総合確保基金措置状況について

## ・地域医療勤務環境改善体制整備特別事業



## ・勤務環境改善医師派遣等推進事業



■ 申請手続き開始済み ■ 未定 ■ 事業化なし・対象外

### ○ 申請手続き開始済み病院数

- ・地域医療勤務環境改善体制整備特別事業 6病院のみ、3.9億円
- ・勤務環境改善医師派遣等推進事業 2病院のみ、6.3億円

➡ 自治体ごとに積算方法が異なり、申請手続き開始済み病院においても支援額に差が生じている

### ○ 自治体との調整がついていない病院や詳細な情報を得られていない病院が多い

➡ 地域医療介護総合確保基金獲得に向け、**自治体との折衝等の取組強化が必要**

医師の働き方改革には、本支援事業が必要であるが、一部の病院では、「事業化なし・対象外」

# 研究力の相対的な低下について

臨床医学におけるTop10%補正論文数シェアの推移

臨床医学	PY1999年 - 2001年 (平均)					
	Top10%補正論文数					
	整数カウント			分数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位	論文数	シェア	順位
米国	8,347	53.4	1	7,376	47.2	1
英国	1,977	12.6	2	1,479	9.5	2
ドイツ	1,267	8.1	3	901	5.8	3
カナダ	995	6.4	4	690	4.4	5
日本	889	5.7	5	731	4.7	4
フランス	857	5.5	6	607	3.9	6
イタリア	771	4.9	7	523	3.3	8
オランダ	760	4.9	8	525	3.4	7
オーストラリア	535	3.4	9	380	2.4	9
スウェーデン	513	3.3	10	331	2.1	10
スイス	426	2.7	11	240	1.5	11
スペイン	338	2.2	12	222	1.4	12
ベルギー	321	2.1	13	172	1.1	15



臨床医学	PY2019年 - 2021年 (平均)					
	Top10%補正論文数					
	整数カウント			分数カウント		
国・地域名	論文数	シェア	順位	論文数	シェア	順位
米国	16,907	44.2	1	11,761	30.7	1
中国	6,550	17.1	2	5,117	13.4	2
英国	6,318	16.5	3	2,723	7.1	3
イタリア	4,472	11.7	4	2,252	5.9	4
ドイツ	4,147	10.8	5	1,745	4.6	5
カナダ	3,440	9.0	6	1,349	3.5	6
フランス	3,002	7.8	7	1,190	3.1	8
オーストラリア	2,888	7.6	8	1,239	3.2	7
オランダ	2,862	7.5	9	1,067	2.8	10
スペイン	2,404	6.3	10	934	2.4	11
日本	1,989	5.2	11	1,139	3.0	9
スイス	1,868	4.9	12	503	1.3	13
ベルギー	1,490	3.9	13	413	1.1	15

病院経営が成り立つには、診療割合の増加が必要

しかし…

診療割合が増加することにより、研究力は相対的に低下している